■基礎データ

タイトル	緊急地震速報を聞いたときの「身を守る行動」を学ぼう
ねらい （学習目標）	１．訓練での自分の対応を振り返る。 ２．緊急地震速報を聞いた場合の適切な行動を確認する。 ３．地震時に身を守ることの必要性を学ぶ。
対象学年	小学部・中学部・高等部（学部共通・軽度障害）
教科・イベント等	事後学習（総合的な学習・特別活動）
学習形態	全員（授業）・グループ　　計２０分
準備	地震関連の絵カード、段ボールール製のロッカー、ホワイトボード、マーカーなど

■学習の流れ

構成・学習活動の内容	指導上の留意点（主な発問と子どもへの援助）
導入（5 分）	
1. 訓練を振り返る	・訓練時の自分の行動を振り返る。 ・緊急地震速報を聞いたときの身を守る行動の確認 ※学習内容が視覚的に分かる絵カードを提示する。
展開1（12 分）	
2. 地震時の行動を振り返る	・避難訓練の時にどのような行動を取ったか思い出して、行動に移す。 ※落ち着いて対応するように言葉掛けをする。 ※教師の記録をもとに、一人ずつ動きを確認し、ホワイトボードに示す。 ※「だんごむし」のポーズ、机の下に潜る、立っている、うろうろする等の絵カードを用意し掲示する。
3. 緊急地震速報を聞いたときの対応の仕方を思い出す 3-1. 緊急地震速報が聞こえたら大きな地震が来ることを思い出す 3-2. 危険からどのように身を守るかを知る。	・地震が来ると物がどのように動くかを思い出す。三つの危険「物が落ちてくる・倒れる・動く」を知る。 ※地震が来ることを事前に知らせてくれる音があることを理解させる。 ※以前に学習したことを思い出しながら、今日の行動が正しいかどうか確認することを話す。 ※事前学習で用いた絵カードを使用し、学習を思い出せるようにする。 ※段ボール製のロッカーまたは絵カードを使って、具体的に危険な動きを例示しながら理解を深める。 ※緊急地震速報のチャイム音を聞いたり、地震の強い揺れを感じたりしたとき、どうすれば自分の身を守ることができるのかを考えられるように、これまでの経験について質問する。
	・様々な場所での身を守る正しい行動の絵カードを見る。（教室、廊下、図書室、階段、校庭、トイレ）。 ・頭だね」が大切なことを思い出す。 ・「あついだんご」の合言葉を確認する。 （あたまをまもり　つくえのしたに　　１，２の３で　だんごむし） ※「頭だね」を導き出すような設問をする。 ※身を守る行動の絵カードを用意し、いつでも確認できるようにする。 ※地震から身を守るときに「頭を守る」ことが大切であり、教室にいる場合には、机などで身を守ることを確認する。 見目机がないときはどうするかを考える。 ※地震のときは、どこにいても、教師からの言葉掛けがなくても「だんごむし」のポーズを行うことを確認する。 ※合言葉で行動を覚えるように伝える。

4. 地震時に身を守る方法を確認する	・今日の自分の行動は適切であったかどうか振り返る。 ・振り返りながら、机の下など頭を保護できる物の下に潜る、または姿勢を低くして自分で頭を守ることを確認する。 ・揺れが収まった後の避難時は教師の指示に従って行動することを確認する。 ※ホワイトボードに掲示してあるそれぞれの動きが、正しい行動であったか一人ずつ振り返る。正しい動きができた児童生徒を賞賛する。 ※正しくない動きをしてしまった児童生徒はどうしたらよいかを一緒に考える ※実態に応じて、自分自身がどう行動するべきか考えられるように言葉掛けを工夫する。
まとめ（3 分）	
5. 身を守る正しい行動を取る	・緊急地震速報を流して、身を守る行動を確認する。 ・地震時に身を守ることの必要性を確認する。 ※再度、緊急地震速報が流れたときの行動を示し、机の下に潜る、または「だんごむし」のポーズを確認する。 ※どこで誰といても、自分の頭をしっかり守り安全に十分に気をつけることの必要性を具体的に話す。

■評価ポイント

１　緊急地震速報のチャイム音を理解しているか
２　強い揺れや緊急地震速報を聞いた時、どのような行動をとらなくてはいけないかを理解しているか
３　自分の判断で危険を回避し、自分の判断で行動することが理解できたか

■特記事項

・効果測定を行う場合、指導前後に事前事後評価のためのアンケート「地震アンケート」を記入させ確認する